

尾ノ内沢 沢登り山行報告書

【山城】北秩父 尾ノ内溪谷

【日時】2016年9月22日

【天気】雨時々曇り

【参加者】CL狩野 SL井本 佐藤 時田 下重 宮城(記録)

【タイム】千葉駅 6:00～入溪 9:30～休憩 10:30～遡行終了 11:30～溪谷入口
12:40

【山行報告】

ちば山において『なんちゃって沢』と評判の、尾ノ内溪谷へ行ってきました。
今回は、例会を見学したS君のお試し山行も兼ねていますが、千葉は車窓を叩く雨音がやかましいレベルの豪雨です。

現地(尾ノ内自然ふれあい館入口)へ到着する頃には小雨になりますが、駐車場は我々のみ。

東屋で着替えて出発すると、夏にはなかった(Tさん情報)木のチップが足に優しく敷いてあります。



目にも足にも優しいチップ°

秋っぽさ満載

サクサクと歩いて吊り橋を渡り、整備された足場を通って進みます。
雨で水量が増えた為、『なんちゃって➡普通(初級)』の沢になってますが、水は
とても綺麗な清流のままです。
右へ左へ渡渉しながら、いくつか滝を巻いた後に3M弱の小滝が現れます。
女性陣は巻きましたが、S君は果敢に挑戦！



新人S君
頑張りました！！

水の勢いに押されつつも 登り成功です。
大きな石が増えてきて、ちょっとした鎖場も出てきますが CL・SLに助け
られて進み 休憩を挟んだ後に事件はおきました。
対岸へ渡してあるツルツル滑る1本の丸太を渡った後、真横に生えてる木を跨
げず踏み抜いてしまい、折れた木が跳ね返って鼻骨を直撃！
鼻血が出ないのが不思議な程の強い痛みで、しばし悶絶したのでした。
前を歩く人と、自分のコンパスの違いを忘れてはならない・・・と胸に刻んで
その後は順調に進みましたが、油滝まで残り1/3のところまで本日の遡行は終了。

昼食を軽くすませ、目の前にある5M滝で懸垂下降の練習をしてから下山を開始します。帰り道は高巻きの斜面が滑ってヒヤリとする場面もありましたが、無事に渓谷入口へ戻ってきて一安心。

CL行きつけの温泉と定食屋へ立ち寄り、帰葉したのです。

なんちゃって過ぎて遡行図も存在しない(と思われます)尾ノ内沢でしたが、水が綺麗で静かで、とても良い所だと思います。

尾ノ内エキスパートのCL、皆様 楽しい時間をありがとうございました。



吊り橋効果は皆無…だけど、沢は大満足♥